

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 新美 敢
幹事 堀江宏輝
会報委員長 魚津常義

No. 8

ロータリーに活力を——あなたの活力を
PUT LIFE INTO ROTARY—YOUR LIFE

1988～89年度 RI会長 ロイス・アビー

第300回例会 昭和63年 8月23日(火) 晴

- ◇ “我等の生業”
- ◇ 出席報告
会員 57名 出席 45名
出席率 78.95%
前回 8月16日 (修正出席率)98.25%
- ◇ ビジター紹介 2名
- ◇ お誕生日祝福
三輪夫人(7/20)、深見夫人(7/27)、野村夫人(8/28)
- ◇ ニコボックス
黒須 一夫君 家内と南米のアルゼンチン、ブラジル、ペルーをまわって無事帰国しました。
菅原 宣彦君 うれしいことが一ぱいありました。
矢野 勝久君 中華民国日本研究学会の記念講演の講師として招待されて台湾を訪問しました。
宮尾 紘司君 スピーカーの原 智彦さんを紹介させていただきます。
秋山 茂則君 8月18日20周年の法要をすませました。
成田 良治君 小笠原さん、加藤大豊さん、太田 茂さん、北海道旅行に御案内して戴き大変有無う御座居ました。
三輪 康君、深見 章君、野村 義雄君 夫人誕生日祝い。
- ◇ 堀江幹事報告
1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。
2. 今年度クラブ計画書ができましたので、お帰りにお待ち下さい。
- ◇ 新美会長挨拶
まくらに使われる狂歌で「女ほど世にも尊きものはなし、釈迦も孔子もひよこひよここと産む」今日は女性の話です。
食べ物のせい最近の女性は実に背が高く

スラッとして腰の辺りはよく締まっています、そのプロポーションは実に見事なものになってきました。ところで今の女性は皆レディーと言われています。私の知っているある料理教室の先生が言っていました。最近の生徒は料理を家族のために、夫のために、あるいは嫁入りのみだしなみとして習いに来るのではなくおしゃべりにやってくるということです。

料理を皆で作ったら、それを囲んで友愛の日が広がり、おしゃべりに時間を費やし終りとなるのです。昔英国では中産階級いわゆる成金の方々が皇族のマネをして、炊事をする女はレディーではないと言ってよくパーティをする様になり、その為にロングの手袋が流行したといひます。

そうして見ると今の日本の若い女性は立派なレディーになられたと思います。そのうち炊事は男の仕事となり、子育ても男の仕事、男のための子育てが教室まで出来たときさま。創ってやったんだから子育てぐらいは女房の仕事などと言ったら叱られてしまいます。

男女雇用均等法が制定され働く女性が多くなった今家事の自由化、職場の自由化も大いに結構な事と思います。

女性が強くなったことはアンケート調査でもわかります。57年には子供に女の子がほしいと答えた妊婦は47%であったのに対し、62年の調査では63%となって女性の主張が強くなっています。日本のロータリーもそのうち女性の入会を承認するかも知れません。男女平等が定着しつつある現代、それが当たり前になってきている事を我々は自覚しなければなりません。私の関連会社も女性が多くその才能は非常に優秀であります。又ねばり強い所は女ならではと思うことが屢々であります。元来女性の方が外交的によいのかも知れません。そのうち家事のことは、おなごは何もし

なくなつて来そうです。私の家もご多分に漏れずよく外食に行こうと言います。夫婦共働きという事もあります。おふくろの味が失われつつある昨今これでよいのかとフト考えさせられます。この様なことを言えばあなたは古すぎると言われそうです。ちょっとグチを言ってみただけです。

◆ 講演

“日本人について”

ロック歌舞伎スーパー一座座長

原 智彦 氏 (紹介 宮尾君)



私は、ごく普通のサラリーマン家庭に育ち高校を出、大企業のサラリーマンとして25才までは、どこにでもある人生を歩んできました。そして30才を過ぎたから演劇の世界に身を置く様になって、今年でちょうど10年目になる訳です。なぜ歌舞伎を選んだのかという問いには、私は日本人であるからといつも答えています。30才になるまで私にとって芸術とは、私をそして社会をも開放してゆくもの、豊かにするものと信じ行動してきた訳ですが、その行動する私自身何者であるかよく分らなかったように思います。さまざまな体験、又、いろいろな人間との出会いのうちにある時、「あっ、オレは日本人なんだ。」と、あたり前の事に気がきました。気付くまで30年間かかりました。いや、正確にいうと日本人である事に何か照れて生き続けた自分がどうあがいても自分は短足ガニ股、ノッペラ顔の日本人なのだと思える事でした。日本人という正体に気付いたからには、歌舞伎という総合芸術を逃す手はありません。早速とりかかって見るとスナリと正に身も心も自然に動きまわれ、ちょうど温泉につかりながら酒を飲み、いい女を見ている様なものです。極楽極楽の世界です。なぜ極楽なのか。私は役者なのでこの10年間、色々、この肉体を通して学んだ事から申しますと、演技形態に全く無理がなく、自然だという事です。という見栄とか、六法とか、非常に特殊なものとしてうつるかも知れませんが、実は、やって見ると、とても簡単に誰でもできるものでして、特に子供は、すぐやれます。発声にしても腹から声を出す事は実に気持ちの良いものですし、聞く人も又、気持ちよく耳に入る事とします。よく、息を飲む、ためる、引く、止める、と言いますが、これは、言葉の意味以上の感情表現に「間」というリズムをもって伝達する場合に用いられると思いますが、よく分析しますと、皆、引く力を原理にしてい

ます。日本人の筋肉は押す力より引く力の筋肉の束の方が多いそうです。ですから御存知のように、ノコギリは引きますし、相撲でも柔道でも投げる時は引く力を利用しています。これはただ一つのたとえでしかありませんがすべて日本人という、特有な肉体原理に則しているのです。だから自然で極楽なのです。私はここ10年、演劇という世界に身を投じ、特に日本人による演劇の創造、又、211回におよぶヨーロッパ公演を通じて学ぶ事がたくさんありました。そして今、想う事は、日本は悲しいけれどもとても貧しい国だということです。今、本当に豊かな生き方をしていると実感をもって世界に胸をはれる日本人がどれ程いるでしょうか。皆様の中にも海外からお帰りになり、地下鉄や新幹線の車中でふと見渡した時、人間の無色さにゾッとした感じを受けた方もおられるかと思えます。人間としての自信、少なくとも日本人に今一番欠けているのはこの事だと思えます。今の日本にとって、一番大事な事は、日本人が、自分(日本)を良く知る事。ハード(お金)な面は、充分すぎるほど用意出来ました。次はソフト(文化)の充実です。それも、自分(日本)のソフト作りを行う時だと思えます。

4年前、ヨーロッパ公演中にヨーロッパ人から言われました。個々の文化という点から見ると、日本人とは江戸まで、明治からはリトルヨーロッパ、敗戦以後をリトルアメリカンというのだそうです。私は、その時この事をとても悔しく、残念に、又、恥ずかしく思いました。しかし今は違います。日本が経済的に大きくなった分だけ、もっと危機感をいたっています。国籍(文化)不明の経済インベーターとして、世界に君臨し始めたと思われたら、世界からのけ者になります。

国際化とはまず自分が何者であるか、相手によく知ってもらう事ではないでしょうか。そのためには、自分で自分(日本)を知る事が必要だと私は思います。

◆ 例会変更のお知らせ

名古屋東南RC 9/8 (木)長寿の日夜間例会の為、ホテルナゴヤキャッスルにてPM 6:00より

名古屋港RC 9/9 (金)夜間例会の為、PM 6:00より

◆ 次回例会(8月30日)

講演 “フェアとは、アンフェアとは”

㈱ナゴヤ球場社長

仲谷 義明 氏 (紹介 武内君)

◆ 次々回例会(9月6日)

講演 “デザイン博と名古屋の町づくり”

名古屋市財政局長

竹内 正 氏 (紹介 武内君)